

熱い心、真の勇気で八王子改革！！

決断と実行

八王子市議会議員

49歳

いとうただゆき

伊藤忠之



ごあいさつ

皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

常日頃から私の政治活動にご理解をいただきましてありがとうございます。

さて、11月18日から12月17日まで令和2年度八王子市議会第4回定例会が開かれておりました。市議会は、新型コロナウイルス感染に配慮しつつ慎重に審議をいたしました。

定例会は一般質問に続き補正予算審議の後には、平成31年度（令和元年度）決算審議を行い、本会議場では代表質疑、その後決算審査特別委員会が設置され総括質疑、その後各常任分科会では担当する各所管に対して質問を行い、審議が進行され、最終日に本会議場で議長を除く39名が決算に対する記名投票を行った結果、賛成33反対6と可決されました。僕は定例会で一般質問、決算では分科会での質問のほかにも会派を代表し討論をさせていただきました。裏面に一部ではありますがまとめておりますのでご確認を頂きたいと思っております。

このコロナ禍のなかで、市民の方々が何を考え何を欲しているのか、より深く考え現実的に、しっかりと地方政治の中で活動をしてまいりますので今後も変わらぬご指導をお願いします。

八王子市議会議員 伊藤忠之

皆様のご意見・ご要望、心よりお待ちしております。



八王子市議会議員
伊藤忠之事務所
〒192-0374

八王子市中山446

Tel:
(042)674-8869

Fax:
(042)674-7558

E-mail:
tadayuki802@gmail.com

Blog:
<http://ameblo.jp/tadayuki802/>

プロフィール 伊藤忠之(49歳)

- ・昭和46年八王子市中山生まれ。
- ・地元中山小・中学校を卒業、私立小松原高等学校卒業。
- ・東京コカ・コーラボトリングにてサラリーマン生活を送った後、東花堂(葬儀社)にて経営を学ぶ。
- ・現在、中山在住、母、妻、長女夫婦、次女、孫の7人家族。犬1匹、猫1匹、メダカ7匹
- ・市議会では：
八王子市議会4期
会派 市民クラブ
常任委員会 総務委員会委員
特別委員会 次世代支援・高齢社会対策特別委員会委員
- その他 奨学審議会委員
- ・趣味 筋トレ(足は苦手)
- ・好きな言葉 「今すぐ行動しなければ、10年経っても何もできない」

◎コロナ禍の中の市内企業支援

【問】 これまでの企業に対する支援メニューは家賃や資金繰り、現金給付があり、現状に苦しむ企業に対する直接役所からの支援であるが、こういったメニューは、国ではこの先もこのメニューを続けることは可能であるが、本市のように地方自治体では続けることは難しい。対策として他市では感染防止ステッカーやポスターを作り企業支援をしている。本市も独自のポスターはもちろん街に人の流れを呼び戻すような施策をお願いしたい。また、今後の支援についてどのようなことを大事に考えてメニューをつくるのか聞かせていただきたい。

【答】 ●産業振興部長 感染拡大防止に真摯に取り組み、頑張っている事業者を支援するため、来客の回復を応援する取り組みとして、ご提案のような市独自の応援ポスターやステッカーなどについて、商工会議所、市商店街連合会などと連携して、より効果的な手法を検討してまいります。また、新型コロナウイルス感染拡大の世界的な終息が見通せない中、感染症の拡大防止を図りながら経済活動を進めていくには、新しい生活様式に合わせたビジネスモデルへの転換が求められており、そうした支援メニューについても併せて取り組む。

【問】 ウイルスによって暮らしは大きく変わり、外食や旅行などの外出型消費は激減し、ネット通販などのデジタル消費はさらに加速し、消費構造が大きく変わった。緊急事態宣言は解除されたが、ウイルスとの戦いは依然として続いている。少しずつ外出型消費は増えていくと思うが、しばらくは様子見でないかと思う。国よりも、東京都よりも八王子の企業の状況をよく知っているのは八王子市である。新型コロナウイルスに対して市内事業者と共に戦う決意を市長に聞く。

【答】 石森市長 新型コロナウイルス感染拡大による影響が長引く中で、市や商工会議所の相談窓口寄せられる声などを通じ、多くの事業者が厳しい環境にあると認識している。本市においては、事業継続支援金、テナント家賃支援金、パワーアップ補助金など独自の支援策を設け、国や東京都の支援策と併せて事業者の支援をしてきた。今後もコロナ禍での市内中小・小規模事業者に必要なのかしっかりと把握し、事業者の皆さんが未来に期待を持てるような、また市民の方が安心してお店に行けるような、感染防止に向けた補助を含め、経済を盛り上げる支援策に取り組む。

◎歩道の整備（中山から野猿峠まで）

【問】 令和2年4月に延長約130メートルの防護柵を設置し歩行空間は確保されておるが、約20年前に出された地元要望ではテニスコート信号から野猿峠までの歩道の整備であり、一部は確保されたがその先が見えてこない、今後どのようにしていくのか。また、設置された防護柵から野猿峠までは歩行空間確保のための用地の確保、例えば幼稚園や病院の入り口などや道路の線形など様々な課題があるがどのように進めていくのか。

【答】 ●道路交通部長 防護柵の設置場所につきまして、カーブ部分の幅員が狭く、路線バスのすれ違いに影響を及ぼすため、交通管理者やバス事業者と協議をしており、令和2年度から3年度にかけて行う舗装工事に合わせ、センターラインの位置を変更し、幅員を確保した後に防護柵を延長して、既存の歩道に接続していく予定である。

今後の歩道設置の進め方につきましては、地元の意見を踏まえながら、野猿街道までの道路線形を検討し、市有地を有効に活用

毎週月曜日更新。一般質問等の概要のテーマ増やしました。ぜひご覧になってください。

伊藤忠之オフィシャル

BLOG更新中!!

伊藤忠之 八王子 で

検索

